

皮膚腐食性・刺激性	データなし	データはないが、物理的な刺激が現れることがある。	データなし
眼に対する重篤な損傷・刺激性	データなし	刺激が現れる可能性がある。ウサギ 25mg/24H 軽度 (RTECS)	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	いずれも情報がなく分類できない。	データなし	データなし
生殖細胞変異原性	データなし	データなし	データ不足
発がん性	ACGIHでA2と分類されているに基づき、区分1Bとした。 発がんのおそれ	IARCではシリカをグループ3(人に対して発がん性の分類ができない)に分類している。	ACGIHはグループA4(ヒト発がん性に分類できない物質)に分類している。区分外とした。
生殖毒性	データなし	情報なし	データなし
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	ラットにおいて区分1のガイダンス値範囲内の用量で、肺水腫、肺出血、間質性肺炎、細気管支崩壊、肺胞の拡張不全が見られたとの記載に基づき、区分1(呼吸器系)とした。 呼吸器系の障害	情報なし	上気道刺激性があるとの記載より区分3(気道刺激性)に分類した。呼吸器への刺激のおそれ
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	ヒトでじん肺症、胸部X線画像の変化、肺線維症、結節、珪肺症が見られたとの記載があることにに基づき、区分1(肺)とした。 長期または反復ばく露による肺の障害	情報なし	職業ばく露により、肺に纖維症が認められたとの報告がある。区分1に分類した。 長期または反復ばく露による肺;吸入の障害
吸引性呼吸器有害性	データなし	データなし	データなし

三酸化二ほう素		
急性毒性	経口	ラットLD50>5000mg/kg 飲み込むと有害のおそれ (区分5)
	経皮	情報なし
	吸入 (粉じん、ミスト)	本物質の蒸気圧はほとんど無視できるため、吸入試験は粉塵で行われたと考えられる。LC50が得られた試験がないので、データ不足のため分類できないとした。

皮膚腐食性・刺激性	ウサギで紅斑が出現し数日後に消失及びヒトで皮膚を刺激する。軽度の皮膚刺激(区分3)
眼に対する重篤な損傷・刺激性	動物で結膜炎を生じたとの記載およびヒトで眼を刺激し、発赤や痛みを生じるとの記載に基づき、区分2A-2Bとした。 強い眼刺激（区分2A-2B）
呼吸器感作性又は皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	ヒトで鼻やのどへの刺激感、咳、息苦しさ、のどの痛みなど気道刺激性を示す症状が記載されていることに基づき、区分3（気道刺激性）とした。呼吸器への刺激のおそれ（区分3）
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	データ不足で分類できない。
吸引性呼吸器有害性	データなし

1.2. 環境影響情報

残留性・分解性：知見なし。

生体蓄積性：知見なし。

土壤中の移動性：知見なし。

起こり得る環境影響：切断・研削等において、研削屑（粉塵・ミストも含む）として少量排出されます。

構成純物質の考慮すべき有害性情報は以下のとおりである。

	炭化けい素	非晶質シリカ	酸化アルミニウム
水生環境有害性(急性)	データ不足のため分類できない	データ不足のため分類できない	データ不足のため分類できない
水生環境有害性(慢性)	データ不足のため分類できない	データ不足のため分類できない	データ不足のため分類できない

